



# 重点プロジェクト

第2次氷川町総合振興計画  
2018～2027

※担当課の下線は主担当課を示しています。

## ねらい

1. 産業の拠点の機能を強化します。
2. 起業に対する支援や環境整備を行います。
3. 商品開発及び実験的な販売を総合的に進めます。

事業名称	事業内容	実施時期		担当課
		前期	後期	
人材の確保・育成	商工会と連携し、専門家派遣事業を活用した競争力の向上と、企業誘致などによる働く場の確保により、若者などの人材の確保・育成に係る環境を整備する。	○	○	地域振興課
観光事業を推進する団体の組織再編	町の観光事業の推進と物産振興を目的とした組織について、関係団体の再編と活動の支援を行う。	○	○	地域振興課
起業に対する支援	商工会と連携し、起業のための事例研究セミナーなどを開催し、起業しやすい体制づくりなど、起業に対する支援を拡大する。	○	○	地域振興課
空き店舗を利用した店舗展開事業	空き店舗を利用した新規または事業拡大による店舗展開を支援する。	○	○	地域振興課
道の駅、竜北物産館、農産加工施設の機能強化	地場産業連携の中心的な拠点として、道の駅、竜北物産館、農産加工施設の機能強化を図るとともに、竜北物産館における品揃えの充実により、利用者の増加と経営状況の向上及び雇用促進を図る。	○	○	農業振興課
6次産業推進の体制づくり	本町における6次産業を推進するための体制と組織のあり方を明らかにし、具体的な取り組みを示す。	○	○	農業振興課 地域振興課
農産加工品ブランド化事業	生産者、商工会、JA、県、町で、農産物を利用した加工品や新商品の開発・販売を実施する。	○	○	農業振興課 地域振興課
新規作物・新品種導入に伴う技術実証	新規作物・新品種導入のための実証展示圃を設置し、技術実証を行う。また、八代地域の既存作物についても、優良品種の選定や普及などを行う。	○	○	農業振興課



竜北物産館直売所



こだわりの地元素材を使ったおみやスイーツ

## ねらい

1. 本町のツーリズムを総合的に推進します。
2. ひかわツーリズムを担う人材を養成します。
3. 各種ツーリズムの環境整備を推進します。

事業名称	事業内容	実施時期		担当課
		前期	後期	
ツーリズム事業の推進	ツーリズムに活用できる資源・人材の掘り起こしを行うとともに、本町におけるツーリズムのあり方と発展的な方向性及び具体的な取り組みを示す。農業体験イベント(もち米の学校:田植え・案山子作り・稲刈り・鏡餅作り、梨の木・デコポンオーナー制度、各種農産物収穫など)の開催を支援する。	○	○	地域振興課 農業振興課
ツーリズム推進体制の強化(ツーリズム推進協議会)と人材養成の推進	多様なプログラム展開のためにひかわツーリズムクラブの組織強化とコーディネーター機能の強化を図る。また、各種既存団体・組織を通じてツーリズムの担い手となる人材発掘を行うとともに、それぞれの得意分野でのプログラムの可能性を探り必要なノウハウを学ぶための機会を創出し、ボランティアガイドなどのインストラクターとなる人材を育成する。	○	○	地域振興課 農業振興課
ツーリズム年間プログラムの推進	休耕田や遊休農地など活用できる農地やプログラムに対応可能な人材など、ツーリズム拡充の資源となる素材の実態調査を行い、それを踏まえて各種ツーリズムの年間プログラムを検討し、各種町内イベントとの連携を図る。	○	○	地域振興課 農業振興課
エコツーリズム環境(立神峡公園)の充実	里山の自然と昔ながらの生活を体験できる公園として、その活用と保全、充実に努める。	○	○	地域振興課
歴史・古墳ツーリズムの環境整備の推進	野津古墳群、大野窟古墳、大王山古墳群などの指定文化財の環境整備、散策ルートの整備及び案内・解説サインを整備する。	○	○	生涯学習課
古墳歴史学校の開催	歴史・古墳ツーリズムの中心プログラムとして、歴史や古墳を学ぶ体験学習や歴史の学習を行う。体験学習やワークショップなどができる拠点を設け、学校教育や生涯学習などに利用していく。	○	○	生涯学習課
ブルーツーリズムの推進	覆砂とその後の適正管理によりアサリを育成するとともに、歩きや渡し船により潮干狩りができる環境の整備を行う。また、漁業体験プログラムの可能性とそれを担う人材育成、漁船を利用する際の制約や必要な資格、港湾などの条件についての検討も併せて行う。	○	○	農業振興課

## ③高収益で時間のゆとりもある魅力あふれる農業プロジェクト

## ねらい

1. 担い手発掘や育成のための機会や環境を創出します。
2. 働き方改革や経営改善を進め、魅力あふれる農業を目指します。
3. 法人化や農業環境の整備により、農業をしやすい環境を整えます。

事業名称	事業内容	実施時期		担当課
		前期	後期	
農業施設・農業環境の整備	農作業の効率化を図るため、農業施設や農業環境の計画的な施設・設備の更新に対して支援を行う。	○	○	農業振興課
農産物の販売力強化	JAや生産者、町が連携し、農産物のブランド化や品質向上のための技術力向上、SNS*やパンフレットの活用などによる販売・PR戦略を立案し、町独自のPRを行う。	○	○	農業振興課
経営改善、後継者育成	農業経営関連の出前授業や、若手とベテラン農家などの情報交換の場を持つとともに、新規就農者と農家のマッチングをすることにより、農業の経営改善や後継者の育成を行う。	○	○	農業振興課
農家の働き方改革	計画的に休暇を取得するための仕組みを整えるなど、農家の働き方改革を進める。	○	○	農業振興課
観光農園・農業体験・漁業体験の推進	長期滞在型の観光農園・農業体験・漁業体験の環境を整え、町の産業をPRするとともに、担い手の確保や婚活支援につなげる。	○	○	農業振興課
担い手育成総合支援協議会(担い手支援センター)の機能強化	農業経営に関する研修機能をはじめ、集落営農組織設立や農事組合法人化へむけての研修支援、さらには新規就農希望者に対する研修支援など効率的かつ安定的な農業経営ができるよう農業の担い手(認定農業者、集落営農組織)を育成する。	○	○	農業振興課
集落営農組織法人化推進	法人化にむけた話し合い組織を立ち上げ、研修会などへの参加を促すとともに、設立した法人組織に対して、経営規模の拡大や効率化、高収益作物の取り組み、新規就農者の雇用などにむけた運営が行えるよう支援する。	○	○	農業振興課
近代化施設・設備導入支援事業	法人化組織などの農地集積による施設及び設備導入への支援を行う。	○	○	農業振興課

※ SNS : Social Networking Service (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) の略称で、登録した利用者だけが参加できるインターネットのサイトのこと。(ライン、フェイスブック、ツイッターなど)

## ねらい

1. 自分の健康状態を正しく知り、自分で健康管理できるように支援します。
2. 未受診者対策のための健診体制を整備します。
3. 医療費適正化への体制を強化します。

事業名称	事業内容	実施時期		担当課
		前期	後期	
健診体制の整備と未受診者対策	集団健診、個別医療機関健診、人間ドック、土日の健診実施など、住民のニーズに沿うよう検討を重ね、健診体制を整備する。未受診者に対して個別の受診勧奨を行う。	○	○	町民課
特定保健指導・重症化予防事業	特定健診結果などをもとに、保健師・管理栄養士が個別の訪問指導を継続して行うことで、生活習慣の改善や重症化予防を図る。また、治療中の者については、医療機関と十分な連携をとりながら実施する。	○	○	町民課
医療費適正化事業	特定健診などの実施率向上、糖尿病などの重症化予防、後発医薬品の数量シェアの数値目標達成、医薬品の適正使用などにより、住民の健康の保持と医療の効率的な提供を推進する。	○	○	町民課



健康センター



住民健診

## ⑤みんなが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちプロジェクト

## ねらい

1. 高齢者や障がい者、誰もが住みやすい地区環境を創ります。
2. 福祉を支える担い手づくりを行います。
3. 地区での支援体制の強化を支援します。
4. 問題解決のための支援体制の充実強化を図ります。

事業名称	事業内容	実施時期		担当課
		前期	後期	
障がい者への理解浸透や支援拡大	障害者計画に基づき、人権問題に関する普及・啓発の実施による障がい者への理解の浸透や、公共施設のユニバーサルデザイン化の推進、当事者団体や専門機関などとの連携により、障がい者や家族への支援を広げる。	○	○	福祉課
高齢者・障がい者虐待防止事業	障害者虐待防止法や障害者差別解消法を受けて、障害者虐待防止センターを対応窓口として、高齢者・障がい者に対する虐待・差別の早期発見や事案への対応、養護者などの支援（介護負担の軽減など）、周囲への理解浸透を行う。	○	○	福祉課
福祉を支える人材の確保・支援	町内や隣接自治体を含めた人材バンクなどの仕組みの確立や、ボランティア育成、専門学校卒業生などに対する地元での就職など、福祉を支える人材を確保するための支援を行う。	○	○	福祉課
医療・介護・福祉関係者のネットワークの形成	八代地域の医療・介護・福祉関係者のネットワークを形成し、定期的な情報交換を行うとともに、地域包括ケアシステムの構築にむけて医療・介護・福祉の連携を図る。まずは、八代地域で八代市医師会、八代郡医師会、八代市、氷川町の4者で地域包括ケアシステム構築にむけ取り組んでいる在宅医療・介護連携推進事業において、多職種による研修会や講演会などへの関係者の参加を促し、ネットワーク形成を図る。	○	○	福祉課
利用者に対する情報提供	介護施設の利用者に対し、各介護施設などの概要や介護用品のレンタル情報などについて情報提供を行うなどにより、施設を利用しやすくする仕組みを確立し、利用者の広域化を図る。	○	○	福祉課
交通手段の確保	タクシー会社との連携により、補助の上限を設けて、障がい者、高齢者などの交通手段の支援を行う。各地区で連絡して乗り合う送迎システムの構築にむけた検討及び実現化を進める。	○	○	福祉課

在宅生活への支援、高齢者の見守り体制の確立	町や施設、住民が連携しながら、高齢者の見守り体制を確立するとともに、在宅生活を支援する仕組みを構築する。	○	○	福祉課
緊急時医療等情報カードの配置	氏名・連絡先・血液型・血圧・保険証・かかりつけ医など、最低限の医療情報を記入したカードを、独居高齢者、老老介護の世帯、避難行動要支援者などに配置する。	○	○	福祉課
健康・福祉の地区の担い手の充実	地区における健康づくりや見守りなどの健康・福祉の担い手として、高齢者による地区内シルバーボランティア活動に対して、組織化や活動への支援の充実を図る。	○	○	福祉課
全地区でのサロンの設置・実施	町や施設、住民が連携しながら、全地区でのサロンの設置や募集提案型サロンの実施を通して、町独自の介護予防事業を展開する。	○	○	福祉課



いきいきサロンの活動

## ねらい

1. スポーツによる健康づくりができる体制を充実させていきます。
2. 身近な地区でスポーツに親しめるようにします。
3. 拠点的なスポーツ施設を充実させていきます。

事業名称	事業内容	実施時期		担当課
		前期	後期	
住民のスポーツ活動推進	各地区で開催されているレクリエーション活動や幼児・児童の社会体育活動を基本として、子どもから高齢者までが身近にスポーツを楽しめるようにスポーツ推進委員や体育協会、総合型地域スポーツクラブなどと協力・連携をしながら組織化を図り、人材を育成する。	○	○	生涯学習課
地区スポーツ活動支援事業	各地区のスポーツ活動を促進し、これを核とした地域スポーツの育成・強化を推進していく。また、必要に応じて、スポーツ推進委員の派遣を行い支援する。	○	○	生涯学習課
拠点的なスポーツ施設の整備	現在ある施設の有効利用に努め、スポーツ活動を推進するとともに、利用者のニーズに即した施設の充実を図り拠点化する。	○	○	生涯学習課
既存の身近なスポーツ施設の充実	既存施設の保全(修繕)と整備・充実に努め、利便性を高めるとともに利用拡大を図る。	○	○	生涯学習課



町民体育祭秋季大会



## ねらい

1. 氷川町コミュニティ・スクールを推進します。
2. 小・中学校の教育環境の充実に取り組みます。

事業名称	事業内容	実施時期		担当課
		前期	後期	
小・中学校コミュニティ・スクール推進事業	委員による積極的な協議や活動を充実させていく。また、コミュニティ・スクールの活動を周知しながら、町全体でコミュニティ・スクールの理解を進め、活動の中心となる人材を育成するとともに、各小・中学校のコミュニティ・スクール推進事業を充実させる。	○	○	学校教育課
地域学校協働本部※事業	「地域とともにある学校づくり」にむけ、地域学校協働活動推進員(コーディネーター)により、郷土愛を育むふるさと「氷川学」のカリキュラムの作成・活用や学校支援活動のコーディネート・環境整備・家庭教育支援を充実させる。また、地域の人材確保を進める。	○	○	生涯学習課
ICT教育推進事業	教育の情報化と児童・生徒の学力向上を目指し、ICT機器の効果的な活用を推進する。また、教職員のICT活用能力を高めるために研修を実施し、ICT支援員の配置や授業づくりを支援する。	○	○	学校教育課
「ひ・か・わ」型学習推進事業	「主体的・対話的で深い学び」を目指す「ひ・か・わ」型学習を継続し、児童・生徒の学力向上を図る。	○	○	学校教育課
小・中学校空調設備整備事業	小・中学校の教育環境を整えるために、計画的に空調設備の整備を行う。	○		学校教育課
子どもたちへの防災教育の推進	小・中学生を対象にした地震・津波の避難訓練を、コミュニティ・スクール委員や地域の協力を得ながらモデル地区をつくる。幼児、小・中学生、地域の防災教育を他地区へ広げていく。	○	○	学校教育課 総務課
宿泊通学体験事業	立神峡公園で自主性や自律性、協調性などを培うことを目的に、町内小学6年生を対象とした通学合宿事業を毎年実施する。	○	○	生涯学習課

※ 地域学校協働本部：地域の人々と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子どもたちを育む、地域とともにある学校づくりのために、地域住民と学校との連携を目的に設けられた体制のこと。

## ねらい

1. 地域ぐるみで子どもを生み育てやすい環境を創出します。
2. 就学前の保護者の学びの場・機会を作ります。

事業名称	事業内容	実施時期		担当課
		前期	後期	
子どもを生み育てやすい環境の創出	ニーズに応じた保育・子育て支援事業(保育サービス・居宅内外養育支援・ひとり親家庭などの自立支援など)の充実を図るとともに、必要とする支援を選択して利用できるよう、充実した情報提供や相談・援助などを実施する。	○	○	福祉課
子育て支援センターを中心とした就学前の子どもの保護者に対する学びの機会の創出	主に乳幼児を持つ保護者が気軽に集い、相談したり保護者同士で情報交換や仲間づくりを行える場を提供する。子育て支援センターを中心とした活動や健診時における保護者への働きかけなどにより、家庭教育の重要性やそのあり方を学ぶ機会を創出する。子育て支援のさらなる機能強化を図るため、職員配置の強化や職員のスキルアップを図るとともに、ボランティア協力員を積極的に取り入れ、より幅広い事業内容に取り組む。利用率を上げるために子育て世代や地域へ情報発信を実施していく。	○	○	福祉課 町民課
次世代育成推進フォーラム in 氷川町	「くまもと教育の日」に合わせて、教職員・保護者・地域住民などを対象に教育フォーラムを毎年実施する。PTAや子ども会、老人会、婦人会、地域住民などへ積極的な参加を呼びかけ、学校・家庭・行政・地域社会が一体となって連携・協働し、町全体で子どもたちを育成し教育力を高める風土を形成する。	○	○	学校教育課 生涯学習課



子育て支援センター



次世代育成フォーラム

## ⑨子どもから高齢者までの主体的な活動・活躍及び学習支援プロジェクト

## ねらい

1. 子どもから高齢者までの多様な参加・体験と活躍の機会を作っていきます。
2. 子ども会活動の充実を図っていきます。

事業名称	事業内容	実施時期		担当課
		前期	後期	
生涯学習活動の強化	生涯学習の事業内容を随時精査見直しを行いながら時代に即しニーズに合致するメニュー作りに努める。また、各種団体の自主性を促し支援する。	○	○	生涯学習課
ふるさと学習による子どもの地域行事への参加促進	ふるさと学習の体系化を図り、地域住民・老人会・婦人会・文化協会などと連携し、郷土芸能や文化財などの地域の教材を活用したふるさと「氷川学」を推進することにより、子どもから高齢者まで地域のことを学び、地域での行事へ参加しやすい仕組みを作る。また、学ぶ場所の拠点づくりを行う。	○	○	生涯学習課
子ども会活動活性化支援事業	子ども会事業の球技大会や子ども会大会など、子どもたちの自主性を尊重した事業を企画させ、町内すべての小学生を対象にした桜っ子クラブ活動により、会の活性化を支援する。	○	○	生涯学習課
ジュニアリーダー・シニアリーダーの育成及び活動機会の充実	ジュニアリーダーやシニアリーダーを育成するため、九州地区ジュニアリーダー大会や県ジュニアリーダー大会、自主研修会への参加を促進させ、子ども会や町の事業に参加・協力するなど、活動の機会を設ける。	○	○	生涯学習課
子ども会運営改革の検討	子どもたちの自主的な取り組みを前提として、ジュニアリーダーや指導者の体制を整え、地区子ども会の減少傾向への改善策の検討や支援を行う。	○	○	生涯学習課
子どもが活躍できる場づくり	休日における子どもたちの自主的な活動の場として、既存の公民館などを利用しやすくする。また、地域の身近な場所で、子どもたちの居場所づくりを支援する。	○	○	生涯学習課
地区づくり活動への参加支援	自然観察、体験学習、伝統行事の継承、景観整備など、地区づくり活動の中で子どもたちが地域住民と一緒に行動を支援する。	○	○	地域振興課

## ねらい

1. 移住定住のための住まいや生活の利便性を確保します。
2. 地区の環境を保全し、受け入れ体制を整理します。
3. 町の魅力を発信し、移住者に対するメリットを創設します。

事業名称	事業内容	実施時期		担当課
		前期	後期	
住まいの確保	住宅を整備・誘致するとともに、公営住宅を活用し、若い世代や子育て世代、UJIターンの移住希望者などを受け入れるための住まい・住宅を確保し、移住定住の促進に取り組む。	○	○	建設下水道課
空き家活用事業	空き家バンクに登録された物件を、町内への移住定住を目的とする空き家利用希望者に紹介し、空き家の有効活用につなげる。空き家バンク促進補助金により空き家活用を推進する。	○	○	建設下水道課
企業誘致活動	雇用機会の確保による就業人口の増加を目指し、県や金融機関などと連携し、パンフレットの配布やイベントへの参加などの広報活動により、宇城氷川スマートインターチェンジや国道3号周辺などにおける企業誘致活動を推進する。	○	○	地域振興課
道路施設の充実	生活道路や歩道の整備により、安全・安心な通行の確保を図る。	○	○	建設下水道課
地区環境の保全と受け入れ体制の検討	地区内の環境保全を図り、地区での移住者の受け入れ体制について検討する。	○	○	地域振興課
移住者に対する支援策の創設	移住希望者に対する相談窓口の開設や、地域おこし協力隊の活用、氷川町での生活を体験するためのお試し居住住宅の整備、移住者に対する住民税の軽減などの支援策を創設する。	○	○	地域振興課
町の魅力発信事業	PRパンフレット及びPR動画、ホームページ、フェイスブックなどのSNSなどを活用し、町の魅力を広くPRする。	○	○	企画財政課
婚活応援事業	結婚を望む男女に出会いの場を創出するための婚活イベントなどを実施し、人口増加につなげていく。	○	○	地域振興課

## ねらい

1. 氷川に親しむための取り組みを総合的に進めます。
2. 氷川を守る各種団体・グループの活動を支援します。
3. 氷川を大切にする住民意識を高めます。

事業名称	事業内容	実施時期		担当課
		前期	後期	
氷川に親しむ学習 機会の創出	氷川に親しみ、安全に遊ぶために、川での遊び方や川との付き合い方を学ぶ学習機会を作り、子どもをはじめ、大人も参加して川に学ぶ活動を推進する。学習機会での講師役として知恵と経験を持つ高齢者の参加を積極的に促進する。	○	○	企画財政課
氷川流域関係団体 と連携した水辺環境 づくりの推進	清流氷川流水対策協議会におけるコミュニティの森補植事業や清掃活動、県への要望、また、氷川流域の小・中学校、氷川沿いの地区と連携した事業実施により、氷川流域の関係団体の連携の強化や活動の充実を図るための支援を行う。特に立神峡から下流を含めた氷川沿いの地域の地区づくりや区役などと連携して清掃活動を行い、ホテルが住める心の癒やしとなる自然豊かな環境づくりを進める。	○	○	企画財政課
氷川を楽しむため の総合的な環境 整備の推進	氷川に親しむための散歩道などの環境整備をはじめ、氷川沿いの各種施設の情報提供やイベントなどにおけるネットワーク化を進め、総合的に氷川を楽しむことができる環境をハード・ソフト両面で整えていく。	○	○	企画財政課
水を大切にす る意識啓発の推進	暮らしと産業の両面で水を大切に、節水を推進するための意識啓発を進める。暮らしの面では各種情報提供と啓発活動を進める。また、産業面では商工業団体・農業団体を中心に節水運動を促進し、水を大切に使う意識を高める。	○	○	町民課



清流氷川流水対策協議会  
体験学習

## ねらい

1. 循環型社会の形成にむけて幼少期から意識改革・啓発を進めます。
2. 資源や廃棄物の処理や再利用を推進します。

事業名称	事業内容	実施時期		担当課
		前期	後期	
意識改革、マナーの周知・広報	環境プロジェクトチームを立ち上げ、廃棄物監視員や保健衛生委員と連携して不法投棄防止のため地域を見回り、不法投棄の早期発見や不法投棄者への行政指導などにより対処する。廃棄物の適正処理、ごみの分別やリサイクル意識の向上について、マナーの周知・広報や情報発信、啓発看板の設置などを行う。	○	○	町民課
資源の再利用の推進	剪定くずや孟宗竹を、薪やペレットとしての再資源化を推進する。	○	○	町民課
廃棄物の処理・再利用の環境整備	各世帯での生ごみ処理機の導入の補助などにより、循環型社会の形成にむけて、廃棄物の処理や再利用を進める。	○	○	町民課
子どもエコ学習・意識啓発	リサイクル活動の充実とともに、幼・保、小、中における環境学習などの取り組みを行うことにより、幼少期からの意識啓発を図る。	○	○	町民課
下水道処理の広域編入を推進	集落内水路及び八代海の水環境並びに水質を保全するため、公共下水道宮原処理区の汚水処理について、熊本県や関係市と協議し、八代北部流域下水道へ広域編入を行い、放流水質の高度化に対応する。	○		建設下水道課



子ども参加による清掃活動

## ねらい

1. 住民自治によるまちづくり活動支援の制度を確立します。
2. 住民自治によるまちづくり活動を支える人的体制を強化します。
3. 住民自治の多様な活動を支援していきます。

事業名称	事業内容	実施時期		担当課
		前期	後期	
住民自治によるまちづくり活動支援事業	地区別計画に基づく住民主役のまちづくり活動に対して、活動支援のための財政的支援を行う。また、申請のための実施計画について、地区住民の総意での決定のための仕組みを指導し、着実に円滑な事業推進を図る。	○	○	地域振興課
まちづくりリーダー研修機能の強化	各地区の住民主役のまちづくり活動を推進するまちづくり組織の育成を図るとともに、そのリーダーに対してまちづくりの研修機会や交流の場を作り、円滑なまちづくり活動推進を支援する。	○	○	地域振興課
地区連携事業の検討	地区の自主的なまちづくり活動の中で、周辺地区との協働による活動推進が必要なものに対して、地区連携事業としての支援を検討し、将来的にはまちづくり活動に関しての地区単位の見直しを検討していく。	○	○	地域振興課
テーマ型住民活動支援制度の確立・充実	福祉、教育、子育て、環境、伝統文化の継承など、様々なテーマを持って活動する住民グループ・団体などの立ち上げや育成、新たな取り組み実施のための支援制度を確立する。	○	○	地域振興課
大学連携によるまちづくり事業	行政と大学生がまちづくりに関する研究活動などを通して、政策提言、情報発信を行う。	○	○	企画財政課



地区別計画策定に向けた地区づくり会議



大学生による政策発表

## ねらい

1. 地域防災力の向上と地域コミュニティの活性化にむけ、地区防災計画の取り組みを支援していきます。
2. 自主防災組織活動の充実を支援していきます。

事業名称	事業内容	実施時期		担当課
		前期	後期	
避難行動要支援者名簿の充実と個別計画の作成	災害対策基本法を踏まえ、避難行動要支援者名簿の充実を図るとともに、災害時の避難支援の共助と公助を推進するため、要支援者の個別計画を作成する。また、災害時の福祉避難所の開設にむけて、開設方法を検討する。	○	○	福祉課
地区防災計画の策定及び更新支援	「平成 28 年熊本地震」を踏まえ、「自助・共助・公助」の3本柱を軸に全地区を対象とした住民主導型の防災計画の内容充実を図る。継続した防災活動、災害に対応できる人材育成、地区全体の共助意識の強化など地域の防災力の向上につなげる。計画策定後は、訓練、検証、課題整理を行い、毎年の計画更新を支援する。また、支援が必要な住民を地区毎に共有するために支援者リストの作成支援に努める。	○	○	総務課
自主防災組織育成事業	地区防災計画に基づき、継続した防災訓練の実施や防災リーダーなど人材育成を図ることで、自主防災組織の基盤強化や地区の一体的なつながりの構築や災害に強い地区づくりにつなげる。	○	○	総務課
防災備蓄倉庫の整備・充実	災害発生時に被災者への迅速的確な対応を図るため、必要な物資の確保に資する防災備蓄倉庫を整備し、適正な管理に努める。	○	○	総務課
一時避難所の整備	災害時における地域住民の安全確保のため、福祉避難所などを含む必要な施設の整備を図る。	○	○	総務課
防災ハザードマップ作成・更新事業	自然災害発生時における迅速的確な対応を図るため、被害を予測し、その被害範囲、避難経路、避難場所などを地図上に示した地区毎の防災ハザードマップ(浸水・高潮・洪水・地震など、防災マップづくりの基礎となる情報地図)を作成・更新する。	○	○	総務課
消防力の充実と強化	消防活動の要となる消火栓や防火水槽などの消火施設の充実や、小型消防ポンプ及び積載車などをはじめとした防火関連設備・資機材の計画的な導入・更新を行い、消防力の充実・強化を図る。	○	○	総務課



## ねらい

1. 地域の歴史情報の収集とPR活動を支援します。
2. 祭りや伝統行事を通じたまちづくり活動を支援します。

事業名称	事業内容	実施時期		担当課
		前期	後期	
各地域の伝統的な祭り情報の収集とPR、保存・継承	過去にさかのぼって、各地域にあった伝統的な祭りや伝統芸能の情報を集め、保存や復活の可能性を考える基礎資料を作る。また、地域や保存会の活動に対して助成を行うとともに、地域学校協働本部事業や各学校のコミュニティ・スクール活動と連携して各地域の祭りや伝統芸能を保存・継承できるように進める。	○	○	生涯学習課
歴史・伝統・文化に関する人材育成	町の歴史・伝統・文化を学習する機会を作り、ボランティアガイドなどの人材育成に努め、技術者の紹介、技術向上のための学習会も併せて開催する。地域での保存・再生活動のリーダー的な存在を育成する。	○	○	生涯学習課
住民自治によるまちづくり活動支援事業（伝統行事関連）	祭りなどの地区の伝統行事に対して住民主役の地区づくり補助金による支援を行い、地区コミュニティの向上を図るとともに、保存・再生活動のきっかけとする。	○	○	地域振興課
文化祭を活用した地域の伝統・文化のPR活動支援	文化祭で各地域の保存・再生活動の成果を発表する機会を作り、広く町内に周知するとともに、活動を盛り上げ、住民の文化意識を高める。	○	○	生涯学習課



無形文化財 早尾のすつきょん行事



文化祭

